

# 平成24年度事務事業評価シート

取組みコード 41328

区分	補助金・交付金	担当課	教育総務課	作成日	平成24年5月21日
事業名	進路指導活動費補助金	開始年度	平成8年度	予算科目	9.1.3.2.1

## 1. 事業の概要

総合計画での位置づけ	
部	第4部 豊かな人間性を育む文化のまちづくり
章	第1章 生涯を通じて学ぶ体制づくり
節	第3節 小中学校教育の充実
基本施策	2 生きる力を育む教育の充実
取組みの基本方向	(8)生徒の能力や適性、興味、関心をいかした適切な進路選択が行えるよう、中学校の進路指導の充実をはかります。
根拠法令等	学校教育法第21条第10号
目的 (誰・何を対象に、何のために)	文部科学省の定めるキャリア教育推進のため、生徒が自らの生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、計画的、組織的に進路指導を充実させていくもの。
内容・方法 (何をやっているのか)	進路先に関する資料収集をはじめ、校内研究に用いる書籍購入や、実際の生徒の進学先や就職先との交渉に必要な役務費等に対して、町内3中学校へそれぞれ100,000円の補助を行うもの。 主な使途: 資料代20,000円、調査研究費30,000円、通信費25,000円、消耗品費25,000円等

## 2. 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

		指標名		平成21年度	平成28年度		
本事業が属する総合計画の節の成果指標		『小中学校教育の充実』について「満足」と感じる住民の割合(%)		28.9	39.0		
指標の名称(単位)	増減	指標の説明	項目	基準年度(H22年度)	平成22年度	平成23年度	平成24年度
成果指標	増	中学3年生全体数に対する進学・就職先が決定した生徒の割合	計画値	/	100.0	100.0	100.0
			実績値	97.7	97.7	97.8	
			達成度※自動計算	/	97.7	97.8	
活動指標		予算に対する補助金の執行率	計画値	/	100.0	100.0	100.0
			実績値	100.0	100.0	100.0	
			達成度※自動計算	/	計測不能	計測不能	計測不能

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

## 3. 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年度		基準年度(決算) (H22年度)	平成22年度(決算)	平成23年度(決算見込)	平成24年度(予算)
(A) 事業費(円)		300,000	300,000	300,000	300,000
(B) 概算職員数(人)		0.040	0.040	0.040	0.040
(C) = (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算		332,000	332,000	332,000	332,000
(D) = (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算		632,000	632,000	632,000	632,000
単位当たりコスト ※自動計算		6,468.8	6,468.8	6,465.5	
財源内訳(円)	特定財源				
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源 ※自動計算		632,000	632,000	632,000	632,000

#### 4. 事業の項目別評価(分析)

項目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	公益性: 直接的である、間接的であると問わず、事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質か	高低	B
	必需性: 当該事業を実施しなければ町民生活に支障をきたすなど、必要不可欠なものであるか		
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成23年度の目標を達成している	×	B
	基準年度と比較して成果が向上している	○	
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができていない (判定基準) A 成果が向上している、費用も縮減している B 費用が増加しているが、費用の増加率よりも成果の向上率の方が高い C 成果が低下しているが、成果の低下率よりも費用の縮減率の方が高い D 成果が向上しているが、成果の向上率よりも費用の増加率の方が高い E 費用を縮減しているが、費用の縮減率よりも成果の低下率の方が高い F 費用が増加し、成果も低下している	向上率 成果 100.05%	A
		縮減率 費用 100.00%	
総合評価 ※自動判定		改善すべき点がある	

#### 5. 特記事項

ニートやフリーターなどの社会現象を受け、心身の発達が著しい中学校段階における多感な時期を捉え、自分と社会との関わりや、将来への生き方、進路の選択可能性等を自らの意思と責任において見出し人生を切り開いていく能力や態度を育てていくことで、町(町民)の発展を後世につなげていくものである。

#### 6. 1次評価(担当課)

評価結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
理由	「進路指導の充実」が学習指導要領にも明記されており、さらに強化をしていくべきである。		
今後の方向性	進路指導活動における旅費や郵送料等の必要経費のみで補助金額に達してしまっているのが現状である。今後のキャリア教育の重要性を見据え、学校全体の計画的組織的な運営となるよう研究教材費の購入等ができるよう増額していくことで更なる発展が期待される。		

#### 7. 2次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等	ただし、当面は増額は行わない。また、町の本来業務を補助金という形態で実施することの是非について検討すること。		

#### 8. 外部評価(行政改革推進委員会)

評価結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等	/		

#### 9. 外部評価(実施のない場合は2次評価)を踏まえた対応案(担当課)

現状のまま、引き続き事業を実施する

#### 10. 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
理由・改善方針	評価時の意見に留意しながら、当面は現状のまま事業を実施するものとする。		